



CHAPTER 3

Integration Utility の使用

Cisco Prime Integration Utility では、ネットワーク管理統合データバンドル (NMIDB) をダウンロードし、Cisco Prime アプリケーション、アイコン、MIB、およびトラップをサードパーティ製ネットワーク管理システム (NMS) と統合します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [Integration Utility の開始](#)
- [データバンドルのダウンロード](#)
- [Cisco Prime アプリケーションの NMS への統合](#)
- [NMS の更新](#)
- [Integration Utility のトラブルシューティング](#)

Integration Utility の開始

Integration Utility を開始するには、次の手順を実行します。

- Cisco.com で入手できる新しい NMIDB バージョンをダウンロードしてアップグレードします。
- Cisco Prime アプリケーション サーバの場所を変更します。
- 新しいアプリケーションを登録します。
- Cisco Prime アプリケーションを登録する NMS を変更します。
- 新しいベンダーアダプタスクリプトを入手します。

Integration Utility を実行するには、ルートとして UNIX にログインするか、または Windows の管理権限を持っている必要があります。

ここでは、次の内容について説明します。

- [UNIX での Integration Utility の開始](#)
- [Windows での Integration Utility の開始](#)
- [NMS での Integration Utility の開始](#)

UNIX での Integration Utility の開始

UNIX で Integration Utility を開始するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Telnet を使用して、Integration utility がインストールされるシステムへの接続を開きます。
- ステップ 2** root でログインします。
- ステップ 3** `root_installation_directory/bin` ディレクトリに移動します。
オプションを使用せずにこのユーティリティを開始するように計画する場合、DISPLAY 環境変数を設定します。
- ステップ 4** コマンドラインで次のように入力します (表 3-1 のオプションを含む)。

```
./nmic.sh
```

表 3-1 コマンドラインオプション

コマンドラインオプション	説明
<code>-h</code> または <code>-help</code>	コマンドライン オプションと使用方法を表示します。
<code>-v</code>	Integration Utility のバージョンと NMIDB のバージョンを表示します。
<code>-q</code>	GUI 画面を表示せずに待機モードで実行します。以前にインストールした NMIDB を使用して、以前に設定したアダプタ スクリプトを実行します。
<code>-u</code>	ネットワーク管理システムから統合の情報を削除します。Cisco アプリケーションのメニュー エントリが削除されますが、MIB とアイコンは削除されません。
<code>-q -cco</code>	Cisco.com から最新の NMIDB を入手して、以前に設定したアダプタ スクリプトを実行します。
<code>-q -file</code>	NMIDB ファイルを使用して待機モードで NMIDB をインストールします。NMIDB ファイルへのフル ディレクトリ パスを入力します。 例： <ul style="list-style-type: none"> Windows の場合は、次のように入力します。 <code>-q -file C:\temp\%nmidb.xxx</code> <code>xxx</code> は NMIDB のバージョンです。 UNIX の場合は、次のように入力します。 <code>-q -file /tmp/nmidb.xxx</code> <code>xxx</code> は NMIDB のバージョンです。

Windows での Integration Utility の開始

Windows プラットフォームでは、次のいずれかから Integration Utility を開始できます。

- [Start] メニュー
- または
- コマンドライン

[Start] メニューから Integration Utility を開始するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Windows デスクトップで [Start] をクリックします。
- ステップ 2 [Programs] > [Cisco Prime] > [Change Integration Options] を選択します。

コマンドラインから Integration Utility を開始するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 `root_install_directory\bin` ディレクトリに移動します。
- ステップ 2 コマンドラインで次のように入力します (表 3-1 のオプションを含む)。

```
nmic.exe
```

NMS での Integration Utility の開始

Integration Utility を NMS と統合する場合、適切なトップレベルのメニューから [Change Integration Options] を選択します。

データバンドルのダウンロード

ネットワーク管理統合データバンドル (NMIDB) には、シスコデバイスをネットワーク管理システム (NMS) に追加するために必要なすべての情報が含まれています。

LAN 管理ソリューション 3.0 に付属の NMIDB バージョンは 1.085 です。

このバンドルは頻繁に更新されるため、Cisco Prime アプリケーションで NMS を使用するには、最新バージョンをインストールする必要があります。

デバイスのサポートをアップグレードする場合、新しい NMIDB がダウンロードされることがあります。Integration Utility が新しいバージョンの NMIDB を検出した場合、新しいバージョンをインストールするように求められます。

最新の NMIDB は、ローカルマシン上のファイル、Cisco.com、または別のシステムから手動で取得することもできます。

Integration Utility がすでに NMS に統合されている場合、[Update Cisco Device Support] メニューからデータバンドルをダウンロードできます。

適切なトップレベルのメニューから [Update Cisco Device Support] を選択します。メニューの位置は、お使いのシステムで CiscoView アプリケーションがインストールされている場所に応じて異なります。新しい NMIDB が自動的に取得され、NMS に統合されます。

Integration Utility を実行するには、ルートとして UNIX にログインするか、または Windows の管理権限を持っている必要があります。

データバンドルをダウンロードするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Integration Utility を開始します。

このユーティリティでは、ソフトウェアセンターによってダウンロードされた新しい (最新の) NMIDB をチェックします。

最新の NMIDB が見つかった場合、このバージョンに更新するかどうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。

- 新しい NMIDB をインストールする場合は、[Yes] をクリックします。
- ソフトウェア センターによってダウンロードされた新しい NMIDB を使用しない場合は、[No] をクリックします。

新しい NMIDB をインストールしない場合は、最新バージョンをインストールするまで、Integration Utility を開始するたびに、インストールするかどうか尋ねられます。

新しい NMIDB が検出されなかった場合、または [No] をクリックした場合、表 3-2 から次のオプションのいずれかを選択します。

表 3-2 NMIDB ダウンロード オプション

オプション	目的	入力
File	ローカル マシン上のファイルから NMIDB をインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> • フルディレクトリパスおよび NMIDB ファイル名を入力します。例： <ul style="list-style-type: none"> – Windows の場合は、次のように入力します。 <code>C:\temp\nmidb.xxx</code> xxx は NMIDB のバージョンです。 – UNIX の場合は、次のように入力します。 <code>/tmp/nmidb.xxx</code> xxx は NMIDB のバージョンです。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Browse] をクリックし、NMIDB ファイルを検索します。
Cisco.com	Cisco.com から NMIDB をインストールします。	<p>Cisco.com のユーザ名およびパスワードを入力してください。</p> <p>Cisco.com のログイン特権を持っている必要があります。</p> <p>Cisco.com のユーザ アカウントおよびパスワードを持っていない場合は、チャンネル パートナーにお問い合わせください。または、Web サイト (http://www.cisco.com) で申請情報を入力します。</p>
FTP	別のシステムから NMIDB をインストールします。	<p>デバイスのログイン情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システム名 • ユーザ名 • ユーザ パスワード • フルディレクトリパスと NMIDB ファイル名 (たとえば、/tmp/nmidb.xxx)

ステップ 2 [Get NMIDB] をクリックします。

お使いのシステムにすでにインストールされている NMIDB よりも新しいバージョンである場合、この NMIDB がインストールされます。

ステップ 3 [Next] をクリックします。

このダイアログ ボックスのいずれかのフィールドで変更を行った場合、新しい場所から NMIDB を入手するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- [Yes] をクリックして、新しい NMIDB をインストールします。
お使いのシステムにすでにインストールされている NMIDB よりも新しいバージョンである場合、この NMIDB がインストールされます。
- [No] をクリックすると、変更がキャンセルされます。

[Application Registration] ダイアログボックスが表示されます。統合の詳細については、[Cisco Prime アプリケーションの NMS への統合](#)を参照してください。

Cisco Prime アプリケーションの NMS への統合

[Application Integration] ダイアログ ボックスを使用して、NMS に統合するアプリケーションを選択します。アプリケーションを統合すると、NMS でアイコンまたはメニューからそのアプリケーションを起動できます。

NMS でアプリケーションを登録する前に、このデバイス用のデータ バンドルのダウンロードを完了させる必要があります。

データ バンドルをダウンロードしない場合、Integration Utility はすでにインストールされている NMIDB を使用します。

Cisco Prime アプリケーションを NMS に登録するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 アプリケーションのタブを選択します。

使用可能なアプリケーションごとにタブが 1 つ存在します。新しいデバイス サポートだけのために NMIDB を更新し、アプリケーション登録の変更は必要ではない場合、次の手順をスキップし、[Next] をクリックします。

NMS から起動するデフォルト アプリケーションを指定するには、[Set as default application to be launched from NMS] をオンにします。

一部のネットワーク管理システム アダプタでは、このオプションがサポートされません。

ステップ 2 統合の完了後に NMS マップ上のデバイス アイコンをダブルクリックします。**ステップ 3** 必要に応じて、登録パラメータを変更します。

- Web ベースのアプリケーションを登録するには、次の項目を入力するか選択します。
 - HTTP/HTTPS プロトコル。
 - Cisco Prime Web サーバのホスト名または IP アドレス。
 - Cisco Prime Web サーバのポート番号。
 - 実行可能ファイルをフル パスで参照し、アプリケーションを起動します。
- 別のアプリケーションを登録するには、別のアプリケーションのタブを選択します。

ステップ 4 すべてのアプリケーションの登録プロセスの完了後に、[Next] をクリックします。

アプリケーション登録の更新を行った場合、確認ダイアログ ボックスで変更を保存するか、キャンセルするかを尋ねられます。

- [Yes] をクリックすると変更が保存されます。

- [No] をクリックすると、変更がキャンセルされます。

[Choose Adapters] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 5 [Choose Adapters] ダイアログボックスで、使用可能なアダプタのリストからアダプタを選択します。

Integration Utility のデフォルトで使用可能なアダプタは次のとおりです。

- CA-Unicenter
- HitachiNMMAdapter
- NetView60NTClientAdapter
- NetView60NTServerAdapter
- NetViewNTClientAdapter
- NetViewNTServerAdapter
- NNMAdapter



(注) NNM アダプタは HP OpenView Network Node Manager Adapter とも呼ばれます。

- SPECTRUMAdapter
- SystemWalkerAdapter

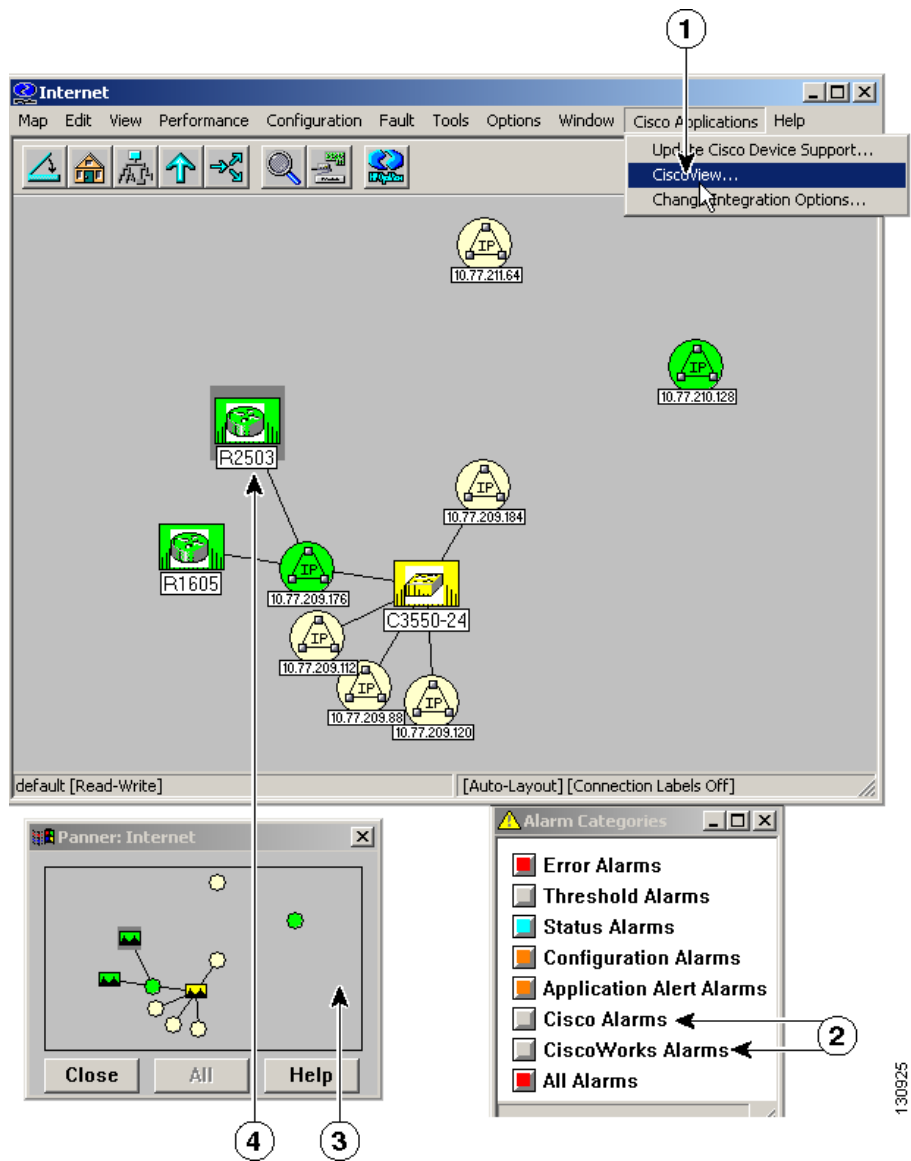
また、ファイルから、またはリモート FTP サーバから新しいアダプタを入手して、既存のアダプタのリストに追加することもできます。詳細については、[NMS の更新](#)を参照してください。

ステップ 6 [Integrate] をクリックして、選択した NMS に Cisco Prime アプリケーションを統合します。

統合には時間がかかる場合があります。統合が正常に完了するまでお待ちください。

[3-1](#) に、CiscoView との統合後の HPOV を示します。

図 3-1 CiscoView との統合後の HPOV



1	Cisco Prime アプリケーション (CiscoView)
2	統合後に表示される Cisco Alarms
3	HPOV Panner
4	シスコのアイコン

NMS の更新

Cisco Prime アプリケーションを統合するネットワーク管理システム (NMS) を更新または変更できます。たとえば、HP Network Node Manager 6.4 から 7.0 にアップグレードすることや、別の NMS を使用することができます。

Cisco Prime アプリケーションとの統合を維持するには、新しいアダプタ スクリプトを取得する必要があります。アダプタ スクリプトによって、NMIDB から NMS にアイコン、MIB、およびアプリケーションが統合されます。

アダプタ スクリプトを実行して Cisco Prime アプリケーションを統合する前に、そのスクリプトに NMS を使用できることを確認します。

NMS をアップデートするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Available Adapters] リストからアダプタ スクリプトを選択します。

Integration Utility に付属の NMS アダプタのリストからアダプタ スクリプトを選択することも、NMS ベンダーによって提供されたアダプタ スクリプトを使用することもできます。

[Available Adapters] リストからスクリプトを選択する場合、スクリプトの説明が [Adapter Description] ダイアログ ボックスに表示されます。

アダプタ スクリプトをリストに追加するには、次の手順を実行します。

a. [Add..] をクリックします。

[Get New Adapter] ダイアログボックスが表示されます。

b. 表 3-3 から次のオプションのいずれかを選択します。

表 3-3 アダプタ スクリプトをインストールするためのオプション

オプション	目的	入力
File	ローカル マシン上のファイルからアダプタ スクリプトをインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> フル ディレクトリ パスおよびアダプタ スクリプト ファイル名を入力します。例： <ul style="list-style-type: none"> Windows の場合は、次のように入力します。 <code>C:\%temp%\adapter.XXX</code> <code>adapter</code> は NMS アダプタの名前で、<code>xxx</code> はアダプタのファイル名拡張子です。 UNIX の場合は、次のように入力します。 <code>/tmp/adapter.XXX</code> <code>adapter</code> は NMS アダプタの名前で、<code>xxx</code> はアダプタのファイル名拡張子です。 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> [Browse] をクリックし、アダプタ スクリプト ファイルを検索します。
FTP	別のシステムからアダプタ スクリプトをインストールします。	<p>次のデバイスのログイン情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム名 ユーザ名 ユーザ パスワード フル ディレクトリ パスおよびアダプタ スクリプト ファイル名。 <p>たとえば、<code>/tmp/adapter.xxx</code> と入力します。 <code>adapter</code> は NMS アダプタの名前で、<code>xxx</code> はアダプタのファイル名拡張子です。</p>

- c. 新しいアダプタ スクリプトが含まれるディレクトリに移動し、ファイルを選択します。
- d. [OK] をクリックします。

スクリプトが [Available Adapters] リストに追加されます。

ステップ 2 [Integrate] をクリックして、選択したスクリプトを実行します。

アダプタ スクリプトによって、アイコン、MIB、およびアプリケーションが NMS に統合されます。

Integration Utility のトラブルシューティング

「トラブルシューティング情報」(表 3-4) の情報を使用して、Integration Utility の使用中に発生したエラーやその他の問題を解決します。

表 3-4 トラブルシューティング情報

症状	考えられる原因	解決策
NMIC を起動すると、NMIDB の抽出中にエラー メッセージが表示される。	統合後に、Change Integration Options を実行すると、システムから NMIDB が抽出されます。 NMIDB を抽出するための十分なディスク容量がない場合、抽出が失敗します。	空きディスク容量を増やして、Change Integration Options を再起動します。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows の場合、ディスクに 190 MB 以上の空き容量が必要です。 • 他のファイルやオペレーティング システムの場合、ディスクに 25 MB 以上の空き容量が必要です。
HP Network Node Manager 用のアダプタ 1.7 でシスコ デバイスのアイコンを表示できない。	これは、統合に使用された NMIDB に特定のデバイス アイコン情報がない場合に発生します。	Change Integration Utility の GUI を使用して Cisco.com から最新の NMIDB を抽出し、統合を実行すると解決します。
統合後、トラップが正しく統合されない。	これは、適切な NMS Adapter が使用されていない場合に発生します。	特定の NMS に対応した最新のアダプタ バージョンを Cisco.com からダウンロードします。

